| 科目ナンバリング U-LAS20 10001 SB48 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|--|-----|----------------------------|--|----|----|------|------|-------|----------------|--------|-------|--------|--|
| 授業科目名 <英訳> 英語リーディング ER28 1S3 English Reading とののののののののののののののののののののののののののののののののののの | | | | | | | | | | | | | 由香 | | | |
| 群 | 外国語 | 語科目群 | | | 分野(分類) | | | | | | | 使 | 使用言語 | | 日本語 | |
| 旧群 | C群 | 単位数 2単位 | | | 週コマ数 1二 | | זר | | 授業形態 | | 演習(外国 | | 外国語) | (対 | 面授業科目) | |
| 開講年度・ 開講期 | 2025 · | ・前期 曜時限 ス | | 木 | 2 | | 酉 | 配当 | | 年 1回 | | 生対 | | 生 | 全学向 | |
| - | [技能領域] | | | | | | | | | | | | | | | |
| アカデミックリーディング | | | | | | | | | | | | | | | | |
| [授業の概要・目的] 本授業は、「一般学術目的の英語」(English for General Academic Purposes, EGAP)を目的とするものであり、学問の場にいる者にふさわしい教養と学術的言語技能を同時に育成することを目指す。この目的のために、カナダやアメリカの大学において教養教育の教科書として用いられている、Janet Browne, Darwin's Origin of Species: A Biography_(2006)を取り上げる。 チャールズ・ダーウィンが1859年にイギリスで出版した『種の起源』は、当時の西洋世界に大きな衝撃を与え、生物学のみならず宗教・文化・思想など様々な側面に波紋を広げた。ハーヴァード大学の科学史家であり、ダーウィン研究の第一人者でもある著者は、ダーウィンが生きた時代の科学と社会を多面的に描き出すとともに、ダーウィンのもたらした長期的遺産についても論じている。本書の通読を通して、生物学・遺伝学にまつわる英語表現や語彙を修得するとともに、欧米の社会史・文化史に関する教養的知識を身につける。 翻訳するのではなく、前後関係に気をつけながら段落ごとの要旨を読み取り、ストーリーを楽しみながら英文を読み進める訓練を積み重ねる。 さらに『京大学術語彙データベース 基本英単語1110』の「理系共通語彙」の部分も利用することで、理系の学術活動に必要な語彙力を養う。 [到達目標] ・生物学や遺伝学に関わる英語表現や語彙を修得する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・前後関係に気をつけながら段落ごとの要旨を読み取り、英文を読み進める能力を身につける。 ・理系の学術活動全般に必要な英語の語彙力を増やす。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| [授業計画と内容] | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基本的に以下のスケジュールに沿って講義を進める。ただし進み具合によって多少変更することが ある。また『基本英単語1110』は小テスト・期末テストの範囲に含める。 第1回 背景説明 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 | Introduct Chapter 1 Chapter 1 課題 Chapter 2 Chapter 3 Chapter 3 Chapter 3 課題 | ion I. Beginn I. Beginn 小テス 2. A theor | ings (2) F y by whi tion (1) tion (2) F | ich | to work (1) to work (2) | | | | | 英語 | Ū | _ ディ | ング ER2 | 28(2) | | |

英語リーディング ER28(2)

第12回 Chapter 4. Controversy (2)

第13回 Chapter 5. Legacy (1)

第14回 Chapter 5. Legacy (2)

第15回 期末テスト

第16回 フィードバック (方法は授業中に連絡します。)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

・課題および小テスト40%、期末テスト40%、授業への積極的取組みを含む平常点20% ・「欠席回数が3分の1以上の場合は単位を認定しない」という方針に基づき、5回以上欠席した場 合は成績評価の対象としない。

[教科書]

Janet Browne 『Darwin's Origin of Species: A Biography』 (Grove Press) ISBN:978-0-8021-4346-4 (ペーパーバック版)

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

・毎回、課題を読み段落ごとに何が書いてあるか大意を把握してから授業に臨むこと。

・課題 は、PandA経由で提出する。内容については授業中に指示する。また小テスト は、 指定された範囲の重要な表現や熟語について問う問題をPandA上で受験する。詳細については授業 中に説明する。

[その他(オフィスアワー等)]

オフィス・アワーは火曜5限または個別にメールでアポイントメントを取ってください。

[主要授業科目(学部・学科名)]